

# 環境経営レポート

2023年度版

(2023年4月～2024年3月)



2024 年 7 月 1 日



株式会社 長崎鋼業所

長崎県 長崎市西泊町23番36号

## 目 次

|                                           |       |
|-------------------------------------------|-------|
| 1. 当社の概要と対象範囲                             | P. 1  |
| 1. 1 当社の概要                                |       |
| 1. 2 対象範囲                                 |       |
| 2. 環境経営方針                                 | P. 2  |
| 3. エコアクション実施体制組織表                         | P. 3  |
| 4. 役割、責任及び権限                              | P. 4  |
| 5. 環境経営目標                                 | P. 5  |
| 6. 環境経営計画                                 | P. 6  |
| 7. 環境経営目標の実績及び評価                          | P. 7  |
| 8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容              | P. 8  |
| 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び<br>評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 | P. 9  |
| 10. 代表者による全体の評価と見直し・指示                    | P. 9  |
| 11. 当社の環境への取り組み                           | P. 10 |

## 1. 当社の概要と対象範囲

### 1. 1 当社の概要

- (1) 会社の名称及び所在地  
株式会社 長崎鋼業所  
本社・工場 〒850-0075 長崎県長崎市西泊町23番36号
- (2) 代表者  
代表取締役 牧山 伸広
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先  
責任者：品質保証部長 大渡 和樹  
担当者：総務部部長兼務 牧山 伸広  
連絡先： TEL 095-865-0118 (代表)  
FAX 095-865-0764  
E-Mail choko@orange.ocn.ne.jp
- (4) 創立年月日 昭和25年10月1日
- (5) 資本金 2,000万円
- (6) 工場規模 敷地 16,470 m<sup>2</sup>  
建物 10,580 m<sup>2</sup>
- (7) 従業員数 66名
- (8) 業務の内容  
金属製品製造業（化学プラント用加熱炉及び発電プラント用ボイラー部品の製造）  
・化学プラント用加熱炉及び加熱管の製造  
・ボイラーチューブ加工  
・配管加工  
・圧力容器の製造  
・廃木材の炭化装置の製造（環境保全製品）  
・ダイオキシン吸着除去装置の製造

### (9) 事業の規模

| 活動規模   | 単位             | 2021(R3)年 | 2022(R4)年 | 2023(R5)年 |
|--------|----------------|-----------|-----------|-----------|
| 加熱炉    | (基)            | 1         | 1         | 2         |
| 売上高    | 万円             | 132,778   | 100,992   | 138,016   |
| 従業員    | 人              | 78.0      | 70.0      | 66.0      |
| 生産時間 ※ | h              | 75,699    | 66,992    | 84,043    |
| 床面積    | m <sup>2</sup> | 16,470    | 16,470    | 16,470    |
| 溶接設備   | 台              | 182       | 179       | 177       |
| 曲げ設備   | 台              | 8         | 8         | 8         |

※1 従来より正規社員のみが生産時間で作成しています。

### 1. 2 対象範囲

当社は全組織・全活動を認証・登録対象範囲としています。

## 2. 環境経営方針

### 株式会社長崎鋼業所 環境経営方針

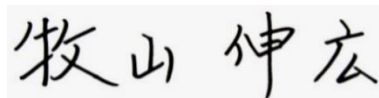
(株)長崎鋼業所は環境との調和・共生に配慮した事業活動を通して自然環境保全に務め、社会への貢献を目指す。

#### 行動方針

1. 事業活動・製品及びサービスが及ぼす環境負荷を改善する為の目的及び目標を設定し、継続的に改善するよう努める。
2. 環境関連の法規制・規則及び協定等を遵守すると共に必要に応じて自主基準を定め、運用管理する事で環境保全活動のレベルアップを図る。
3. 各職域に於いて、省エネによるCO2の抑制、省資源・廃棄物の削減、節水と化学物質の管理並びにグリーン購入を最優先課題とした活動で環境保全に努める。
4. 環境マネジメントシステムを継続的に改善し、さらに環境保全に寄与する。
5. 社内に「環境管理委員会」を設置し環境保全に関する役割と責任を明確にすると共に、本方針を全従業員に周知と徹底を図り、全員の理解と協力を求める。
6. この環境に関する方針は文書化し、環境経営レポートと共に開示公開する。

2017年4月1日

株式会社 長崎鋼業所  
代表取締役

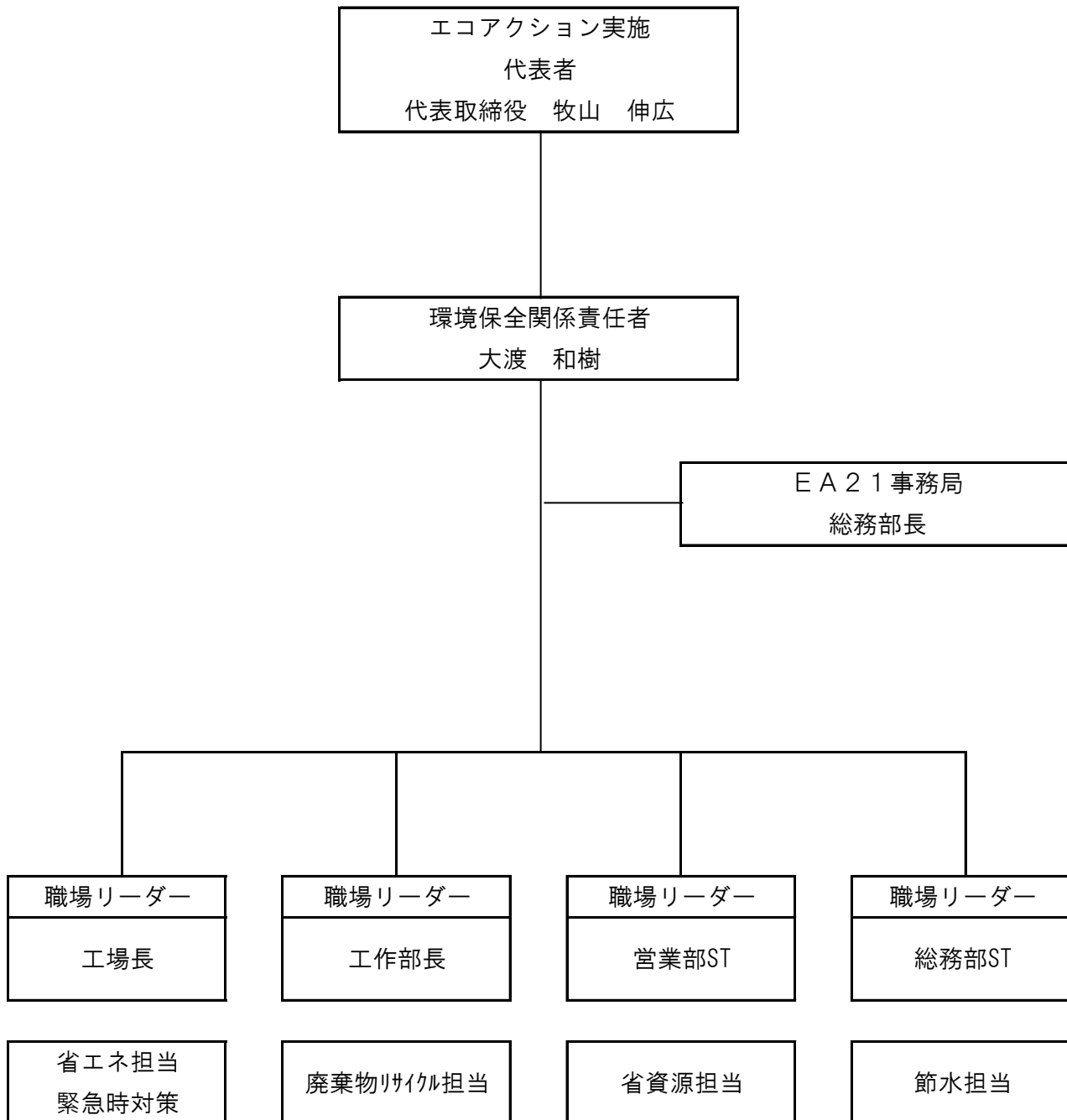


2018年4月1日 改定

### 3. エコアクション実施体制組織表

作成日：2023年4月1日

作成者：大渡 和樹



#### 4. 実施体制における役割、責任及び権限

##### (1) 代表者（代表取締役）

- ・ 環境経営方針を策定する。
- ・ 環境経営目標及び環境経営計画を承認する
- ・ 環境管理責任者を任命する
- ・ 環境経営システムの構築及び運用、環境経営目標及び環境経営計画の実施に必要な資源（人的・物的・財務的・情報資源）を用意する。
- ・ 毎年4月に環境経営システム及び環境経営方針、環境経営目標の見直しを行う。

##### (2) 環境保全関係責任者

- ・ 環境経営システムに関する記録を管理・保管する。
- ・ 環境保全関係責任者は教育・訓練等の実施の年間計画の策定、社内外における環境コミュニケーションの取り纏め、環境上の緊急事態への対応策を定め、その為の準備や訓練の実施の管理  
環境関連文書及び記録の作成・整理を行う。
- ・ 代表者（代表取締役）に代ってエコアクション21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・運用し、またその取り組み事項を確認・評価し代表者に報告する。また問題点がある場合には必要な是正及び予防措置を実施し、このことも代表者に報告する。
- ・ 代表者に代り、環境経営システム全体の構築・運用に責任を持つとともに、必要な権限を持つ。

##### (3) 職場リーダー

- ・ 職場リーダーはPDCAサイクルを各職場でまわす為に指示・監督を行う。

##### (4) 全従業員

- ・ 環境経営目標、環境経営計画を実施する。

## 5. 環境経営目標（2023年度～2025年度）

環境への負荷の状況と取組状況のチェック結果を検討し、今後も効果が期待できるものとして下記に示す目標について取組むこととした。

### 【1】二酸化炭素排出量の削減

年度は4月から翌年3月までとします

| 全社二酸化炭素排出量 | 単位     | 2022年度実績基準 | 2023年度  | 2024年度  | 2025年度  |
|------------|--------|------------|---------|---------|---------|
|            | %      | 削減率        | △3%     | △6%     | △9%     |
|            | kg-CO2 | 271,031    | 262,900 | 254,769 | 246,638 |

#### 1) 電力消費量の生産時間当たりの負荷を3カ年で9%削減する。

| 電力消費量の削減<br>(生産時間当たり) | 単位    | 2022年度実績基準 | 2023年度  | 2024年度  | 2025年度  |
|-----------------------|-------|------------|---------|---------|---------|
|                       | %     | 削減率        | △3%     | △6%     | △9%     |
|                       | kWh   | 494,618    | 479,779 | 450,993 | 450,102 |
|                       | kWh/h | 7.4        | 7.2     | 7.0     | 6.7     |

\* 購入電力の二酸化炭素調整後の排出係数はリコージャパン2023年度の値0.468kg-CO2/kWhとする。

#### 2) 化石燃料使用量の生産時間当たりの負荷を3カ年で9%削減する。

| 化石燃料使用量の削減<br>(生産時間当たり) | 単位  | 2022年度実績基準 | 2023年度   | 2024年度   | 2025年度   |
|-------------------------|-----|------------|----------|----------|----------|
|                         | %   | 削減率        | △3%      | △6%      | △9%      |
|                         | L   | 22,442.6   | 21,769.3 | 21,096.0 | 20,422.8 |
|                         | L/h | 0.34       | 0.32     | 0.31     | 0.30     |

\* ガソリン・軽油・灯油の単位はL、LPGの単位はkgで合算している。

### 【2】廃棄物の削減・再生利用の促進

#### 1) 廃棄物再生利用率を2022年度基準、毎年1%ずつ改善させ、3カ年で3%改善する。

| 再生利用率<br>の<br>改 善 | 項目    | 単位 | 2022年度実績基準 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|-------------------|-------|----|------------|--------|--------|--------|
|                   | 再生利用量 | t  | 14.2       |        |        |        |
|                   | 廃棄物総量 | t  | 46.79      |        |        |        |
|                   | 再生利用率 | %  | 30.3       | 30.7   | 31.0   | 31.3   |

#### 2) 廃棄物最終処分量を2022年度基準、毎年2%ずつ削減させ、3カ年で6%改善する。

| 廃棄物<br>最終処分量の削減 | 項目    | 単位 | 2022年度実績基準 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|-----------------|-------|----|------------|--------|--------|--------|
|                 |       | %  | (基準)       | △2%    | △4%    | △6%    |
|                 | 最終処分量 | t  | 32.5       | 31.85  | 31.20  | 30.55  |

\* 廃棄物は一般と産業廃棄物の合計。一般廃棄物全体に占める割合は1割以下で主に紙類・段ボールで全てリサイクルしている。

### 【3】水使用量の削減

水使用量を2022年度基準、3カ年で9%削減する。

| 水使用量の削減 | 単位             | 2022年度実績基準 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|---------|----------------|------------|--------|--------|--------|
|         | %              | (基準)       | △3%    | △6%    | △9%    |
|         | m <sup>3</sup> | 972        | 943    | 914    | 885    |

### 【4】本業におけるエコ活動の推進

環境関連製品の製作数増加、照明のLED化、生産設備や事務機器等の省エネ型への更新等を積極的に推進する。

| 本業における<br>エコ活動推進・拡大 | 単位   | 2022年度実績基準 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|---------------------|------|------------|--------|--------|--------|
|                     | 件数/年 | 4件         | 4件     | 5件     | 6件     |

### 【5】グリーン購入の推進

：グリーン対象商品の購入品目を増加させる。

| グリーン購入の推進 | 単位  | 2022年度実績基準 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|-----------|-----|------------|--------|--------|--------|
|           | 品目増 | 2品目増       | 2品目増   | 2品目増   | 2品目増   |

### 【6】地域ボランティア活動

：地域ボランティア活動への積極的参加（地域清掃活動）

| 地域ボランティア活動 | 単位  | 2022年度実績 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|------------|-----|----------|--------|--------|--------|
| 回 数        | 回/年 | 1回       | 1回     | 1回     | 1回     |

### 【7】社員への教育・訓練の実施

| 社員への教育・訓練の実施 | 単位  | 2022年度実績 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|--------------|-----|----------|--------|--------|--------|
| 回 数          | 回/年 | 1回       | 1回     | 1回     | 1回     |

### 【8】化学物質の適正管理

当社は化学物質として塗料を使用している。使用量は毎年受注量に伴い変動するため使用量の予測が困難であり使用時の適正管理に努めています。

### 【9】紙使用量の削減

紙を再利用（再生紙購入や裏紙の再使用等）することで紙資源利用の効率化及び廃棄物削減に繋がります。また使用量を削減することは、紙製品の製造に由来するCO2の排出や水の使用量の削減、ひいては森林資源の保護につながると考え、様々な啓発活動を通して、社内での「つかう責任」の意識向上に努めます。

## 6 環境経営計画

【2023年4月～2026年3月】

|   | 推進項目                       | 推進内容                                                                         | 2025年度達成目標                                     | 担当             |
|---|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|----------------|
| 1 | 二酸化炭素<br>排出量の削減            | ①現場及び事務所電源消忘れパトロール<br>②エアコン最適温度再確認・設備の見直し<br>③室内照明のLED化<br>④工場コンプレッサーの効率的な使用 | 2022年度比<br>9%削減<br>(生産時間当たり)                   | 工作部<br><br>総務部 |
| 2 | 廃棄物の削減・再生<br>利用の促進         | ①4棟廃棄物分別箱の小型化<br>による処分回数の平準化<br>②現場作業改善による材料節減<br>③最終処分産業廃棄物の削減              | 2022年度比<br>再生利用率<br>3%改善<br>・<br>最終処分量<br>6%削減 | 工作部            |
| 3 | 水使用量の削減                    | ①手洗い・うがい時の節水<br>②貯水雨水の利用                                                     | 2022年度比<br>9%削減                                | 総務部<br>工作部     |
| 4 | 本業における<br>エコ活動の推進          | ①新エネルギー（水素・アンモニア生成）事業<br>への関わり<br>②生産設備の省エネ改善等                               | 6件                                             | 営業部<br>工作部     |
| 5 | グリーン購入の推進                  | ①グリーンマーク・ECマーク商品の積極的な購入<br>②詰め替え・リサイクル可能な商品への移行推進                            | 2品目増                                           | 総務部<br>営業部     |
| 6 | 地域ボランティア活動                 | ①工場周辺海岸清掃<br>②工場周辺清掃及び除草                                                     | 年1回以上                                          | 全 員            |
| 7 | 社員への教育・訓練                  | ①環境に関する情報の提供<br>②講習会等への積極的参加                                                 | 年1回/年                                          | 総務部            |
| 8 | 化学物質の適正管理<br>(塗料・溶剤の管理の徹底) | ①塗料在庫の削減<br>使用時のSDSの入手並びに適正管理<br>②塗料倉庫の整理整頓・清掃の強化                            | 目標設定なし                                         | 工作部            |
| 9 | 紙使用量の削減                    | ①コピー紙の裏紙使用の推進<br>②各種会議時配布資料の簡素化及び<br>ペーパーレス化の推進                              | 目標設定なし                                         | 総務部            |

## 7 環境経営目標の実績及び評価（2023年度）

### （1） 環境経営目標の負荷実績

対象期間 ： 2023年4月～2024年3月

| 項 目         |                 | 単 位       | 目標値     | 実績値                                            | 達成率        | 判定      |   |
|-------------|-----------------|-----------|---------|------------------------------------------------|------------|---------|---|
|             |                 |           | 2023年度  | 2023年度                                         | 目標／実績      |         |   |
| 1           | 二酸化炭素排出量の削減(全社) |           | k g-CO2 | 262, 900                                       | 365, 021   | 72. 0%  | × |
| 1)          | 電力消費量の削減        | 総 量 (参考値) | k Wh    | 479, 779                                       | 632, 501   | 75. 9%  | × |
|             |                 | ※生産時間当の負荷 | k Wh/ h | 7. 2                                           | 7. 5       | 95. 7%  | △ |
| 2)          | 化石燃料使用量の削減      | 総 量 (参考値) | L       | 21, 769. 3                                     | 26, 082. 1 | 83. 5%  | × |
|             |                 | ※生産時間当の負荷 | L/ h    | 0. 32                                          | 0. 31      | 103. 1% | ○ |
| 2           | 廃棄物の削減・再生利用の促進  |           |         |                                                |            |         |   |
| 1) 再生利用率の改善 |                 | %         | 30. 7   | 88. 1                                          | 287. 0%    | ○       |   |
| 2) 最終処分量の削減 |                 | t         | 31. 85  | 2. 2                                           | 1447. 7%   | ○       |   |
| 3           | 水使用量の削減         |           | m3      | 943. 0                                         | 1, 154     | 81. 7%  | × |
| 4           | 本業におけるエコ活動      |           | 件数/年    | 4                                              | 4          | 100. 0% | ○ |
| 5           | グリーン購入の推進       |           | 品目増加数   | 2                                              | 2          | 100. 0% | ○ |
| 6           | 地域ボランティア活動      |           | 回/年     | 1                                              | 1          | 100. 0% | ○ |
| 7           | 社員への教育・訓練の実施    |           | 回/年     | 1                                              | 1          | 100. 0% | ○ |
| 8           | 化学物質の適正管理       |           | —       | 当社は塗料を使用している。使用量は毎年受注量に伴い変動するため使用量の適正管理に努める。   |            |         | ／ |
| 9           | 紙使用量の削減         |           | —       | 紙を再利用(再生紙購入や裏紙の再使用等)することで紙資源利用の効率化及び廃棄物削減に努める。 |            |         | ／ |

【備 考】 判定の基準 ： ○ → 達成率100%以上、△ → 95%以上～100%未満、× → 95%未満

※上記の二酸化炭素排出量、電力消費量の目標値及び実績値は、

リコージャパンの購入電力調整後の排出係数, 2023年度の0. 468kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用し算出している。

※2023年度実績：生産時間＝84, 043 h、売上高138, 016万円

※ガソリン・軽油・灯油の単位はL、LPGの単位はkgで合算している。

### （2） 売上高当たりの負荷実績

| 二酸化炭素排出量の削減   |          | 単位      | 2022年実績    | 2023年実績    | 達成率%    | 判定 |
|---------------|----------|---------|------------|------------|---------|----|
| 1) 電力消費量の削減   | 総 量      | k Wh    | 494, 618   | 632, 501   | 78. 2%  | ×  |
|               | ※売上高当の負荷 | k Wh/万円 | 4. 90      | 4. 58      | 106. 9% | ○  |
| 2) 化石燃料使用量の削減 | 総 量      | L       | 22, 442. 6 | 26, 082. 1 | 86. 0%  | ×  |
|               | ※売上高当の負荷 | L/万円    | 0. 22      | 0. 19      | 116. 4% | ○  |

※2022年度実績：売上高100, 992万円

## 8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 1.二酸化炭素排出量抑制

1-1) 電力使用量については、各種設備の効率的な使用を意識し取り組んできた。総量は目標未達成となったが、生産時間当りでは目標達成した。総量の未達成要因としては、年度前半(特に6月～8月頃)に工事が輻輳していたため電力使用量の増加に繋がった。今後経費削減の意識を更に高め、各種設備使用にあたっては、全従業員が効率的な使用を実施し電力使用量削減に取り組んでいく。

1-2) 化石燃料使用量については、総量は目標未達成となったが、生産時間当りでは目標達成した。ガソリンは前年を下回る結果となったが、灯油は横ばい、軽油及びLPG使用量については増加した。特に軽油使用量については、前年比3,335Lの増加となった。要因としては仕事量増加に伴い、プラスト用コンプレッサーの稼働時間増加等となったためである。

### 2. 廃棄物の排出抑制

産業廃棄物の排出量については、前年と比較し13,660kgの減少。特に、2021年度末から2022年度にかけて工場内、屋外作業用底盤の撤去等を実施し、工場レイアウト変更を行った為、ガレキ等の処分が2022年4月に集中したもので、2023年度は資源使用効率の改善等もあり大幅減少となったもの。

### 3. 水道使用量の削減

水道使用量については、前年比54m<sup>3</sup>増加となり目標未達成。新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなどの予防のため、うがい手洗いの励行を年間通して継続的に呼びかけたことが増加の要因である。

### 4.本業におけるエコ活動

水素生成やSAF(持続可能な航空燃料)に関わる装置製作(加熱炉)の案件等あり、当社メイン工事として積極的に取り組んでいく。

### 5.グリーン購入の推進

継続的にグリーン適合製品の購入を行っていく。

### 6. 地域ボランティア活動

本年も市民大清掃に合わせ工場周辺の清掃及び除草作業を実施した。また、毎月第2水曜に周辺の海岸清掃も実施している。

### 7. 社員への教育・訓練の実施

毎月実施される全員集会及び安全衛生委員会において、社員に対する教育訓練を行うことができた。今後、外部教育(オンライン講習等)も積極的に取り入れていく。

### 8. 化学物質の適正管理

使用量については受注量増加に伴い大幅増加となった。今後も薬品使用量の効率化を常に意識していく。

### 9. 紙使用量の削減

各種会議実施の際は、資料枚数の削減等ペーパーレス化を継続的に実施していく。

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 当社の主要な環境法令等は下記の通りであり、違反等は無かった

|                              |   |
|------------------------------|---|
| ① 長崎市火災防止条例                  | 適 |
| ② 消防法                        | 適 |
| ③ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律           | 適 |
| ④ クリーン購入法                    | 適 |
| ⑤ 計量法                        | 適 |
| ⑥ 労働安全衛生法                    | 適 |
| ⑦ 道路交通法                      | 適 |
| ⑧ 浄化槽法                       | 適 |
| ⑨ 騒音防止条例                     | 適 |
| ⑩ 改正フロン排出抑制法                 | 適 |
| ⑪ 高圧ガス保安法                    | 適 |
| ⑫ 液化石油ガス法                    | 適 |
| ⑬ 金属アーク溶接等作業における特定化学物質障害予防規則 | 適 |

2. 大気汚染物質、水質汚濁物質等の違反についても関係機関から特に指摘等はなく、同様の訴訟等もありませんでした。

また、環境関連法規への違反及び訴訟もありませんでした。

自社でも関連法規をチェックし問題ないことを確認しています。

2024年6月1日

環境保全関係責任者

**大渡 和樹**

## 10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年度前半、特にバイオマス発電の工事案件が輻輳したため、電力使用量、軽油使用量が大幅に増加(6月～8月にかけてピークとなり残業時間の増加、コンプレッサー使用頻度が増加したが、来年度からは全般的な工事量低下が懸念されます。そのような中今年度は水素製造パイロットプラントやSAFプロジェクト(持続可能な航空燃料)に関連する工事に携われた事、今後、当社の主要な仕事となる可能性を含め、環境負担軽減にも大きく寄与できる仕事として積極的に受注していきたいと思います。

2024年6月1日

株式会社 長崎鋼業所

代表取締役

**牧山 伸広**

## 11. 当社の環境への取り組み

工場周辺岸壁清掃の風景      （毎月第2水曜日実施）

